

議会だより

# 太子

だいで

No.188

平成29年2月6日発行

茨城県  
太子町議会

## 目次

- 平成28年常任委員会活動報告…2～3
- 第4回定例会  
(補正予算・提出議案審議)…4～5
- 一般質問に8名が登壇……6～13
- 「わくわくわたしの夢」……14

# 活動を報告します!!

## 総務委員会

総務委員長 中郡一彦

10月11日に、大子福祉作業所と若草共同作業所の視察研修を行った。この施設は、大子町社会福祉協議会が運営し、精神障がい者や知的障がい者の作業訓練、生活訓練、機能回復訓練、就労に必要な訓練などを継

## 産業建設委員会

- 6/15 大子町森林組合視察研修
- 10/12 子育て支援住宅（既存・予定地）視察及び建設課との懇談会
- 11/15 常陸太田市及び常陸大宮市内道の駅視察
- 12/26 バイオマス発電所建設予定地及び旧つくばの森視察



視察後、施設長との懇談会

続的に行う施設である。大子福祉作業所は、旧高齢者センター内にあり、主に知的障がいのある方が利用し、現在19名が登録し作業を行っている。自主生産品としては、小物入れ・毛糸帽子・たわしなど18種類を作成し販売している。また、町内企業からの受託事業として、電機部品や油圧部品の組み立てや清掃作業も行っている。その他に会社へ週2回就労訓練として出向いたり、特別支援学校からの実習生を受け入れたり、幅広い事業を実施している。若草共同作業所は、旧大子土木事務所内にあり、精神に障がいのある方が利用している。現在19名が登録

し作業をしている。

自主生産品としては、竹串が主力で、鮎の季節には製作が忙しいとのこと。また、町内企業の受託事業では、菓子箱の組み立てや自動車部品の組み立て、その他役場庁舎内やまいんの清掃業務も行っている。

このように福祉作業施設が町内にあり、障がい者の皆さんが日々頑張っている。しかし、施設の知名度が低く町民に知られていないのが現状である。知名度の向上を図り町民の皆さんに知っていただき、理解されたいと実感した。また、町内企業の協力も必要不可欠であり、施設を整備し環境が整った充実した施設で作業してもらいたいと感じた。

## 産業建設委員会

### 「重要施策、動向を注視」

産業建設委員長 菊池靖一  
人口減少・少子化緩和策として4地区に子育て支援住宅建設が予定されているが、今回は建設用地が確定

している2地区の現地視察を行った。

現在建設中の頃藤第二住宅は、国道から住宅までの道幅が狭いのが気になったが、国道に近いことは常陸大宮市方面へ勤務する人にとっても便利な場所になるので、町外から移住してもとらえるような宣伝をするのではないか。



子育て支援住宅予定地（頃藤地内）

建設予定地の旧内大野小学校跡地は、平地であることから住宅建設には好条件の場所である。一方で生瀬中学校には近いが幹線道路や駅からの距離が遠く、他からの入居希望者がどのくらいあるか不安を感じる。視察後の建設課との意見交換の中で委員からは、①学区制の問題、②建設地の



子育て支援住宅予定地（内大野地内）

選定は学校適正配置委員会の判断も考慮すべきではないか、③建築設計については設計やメンテナンス費を考慮していくつかにパターン化すべきではないか、④住宅がなければ町外へ出ていってしまった人もいるので定住化を図る上でも有効であるなど、多くの意見が出された。

建設課からは、①袋田駅前・上小川住宅から他の学校に通っている子どももいる、②現在の施策は学校の統合よりも存続を基本に提案をしている、③建築戸数は、1地区10世帯前後を予定しており、将来は高齢者も入居できることを考えた設計にする、などの回答があった。住宅建設は、重要施策なので今後も注視していく。

# 各常任委員会の委員会

## 文教厚生委員会

文教厚生委員長 野内健一

文教厚生委員会5名は、昨年4月から幼・保、小・

### ◆総務委員会

10/11 大子町内福祉作業所視察  
12/26 バイオマス発電所建設予定地  
及び旧つくばの森視察

### ◆文教厚生委員会

5/25・26, 6/8 町内幼稚園・小・中学校視察  
9/21 町内保育所(園)視察

中学校の環境改善や、機能整備を中心とした文教面と、町民が利用している国民健康保険のさまざまな諸問題、高齢者を中心とした生活改善の施策、介護制度の運用改善等を中心とした厚生面の2面について活動している。

文教面については、小・中学校の現状と環境の問題点を中心に視察を実施し、どの学校も、小さな改善点は幾つかあったが、おおむね学校環境については問題がないと判断した。ただ、2年前から導入されたエアコンの運用方法に改善する点があり、町担当部署と教育委員会で十分な検討が必要であると判断した。

厚生面については、平成30年から実施される、国民健康保険制度の改革が一番の問題と思われる。来年から県が財政運営の責任主体となり、町とともに国保運営を担うことになる。

今後は、町の財政基盤の更なる強化が必要となり、すでに実施されている

低所得者に対する軽減の拡充はもちろんのこと、改革による激変緩和の財政支援も必要になる。

また、改革後の町の役割としては、町民との密接な事業を行うということになると思うが、保険者の努力支援制度を構築していく過程で、町が実施する取り組みが評価され、それに伴って反映される制度が作られていくことを期待する。来年度の制度実施までは、準備作業に追われていくことになると思うが、文教厚生委員会としても、町担当部署と活発な議論を尽くし、町民への説明を求めたい。



先生から説明を受ける委員

## 常任委員会合同視察を実施(福島県福島市)

福島市花見山公園の魅力は、その美しさのみならず私有地を無料開放するおおらかさに心惹かれる、という人も多いだろう。

花の季節は渋滞防止のため、河川駐車場から専用バスでしか行けなくなる。景勝地として行政支援があることは推測できるが、公園といっても私有地である。官民の立場調整をどのように行ったのだろうか。

花見山公園に人が押し寄せ、迷惑問題が起きたのが約20年前。地元有志が交通整理を始め、やがて民間ボランティア団体の花見山観光振興協議会へと成長する。その組織を行政が支援しているのである。

混雑期の専用バスは、組織内にある交通部会が取り仕切る。観光ガイドは観光案内部会が担当する。

出店部会という部門がある。売店による利益追及が目的かと思えば真逆である。花を静かに愛でて欲しい



園主の阿部さんとボランティアから丁寧な説明をうけた

いと無料開放した精神を尊重し、営利の売店は極力目立たないよう離れた場所に配置し、景観の保全に気を配る部会なのである。

黒山の人だかりが押し寄せても原点を忘れず、利益追求に走ることはない。その意外性が魅力であり静ひつなおもてなし感を醸し出す。花見山公園の名を世に知らしめたのは、滅私奉公という精神のおかげかもしれない。(大森)

# 第4回定例会

## 平成28年度 一般会計補正予算

アートを活かしたまちづくり  
推進事業など補正予算を可決！

**2億4千720万7千円の増額**

平成28年第4回定例会が12月7日から15日までの9日間の会期で開かれました。

条例の改正、平成28年度一般会計・特別会計補正予算など、町長から提出された議案22件と常任委員会報告3件、「奥久慈だいいごやな漁業組合運営等に関する調査特別委員会の設置」を含む、議員提出議案6件を審議し、原案どおり可決されました。

一般質問では8人が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

一般会計補正予算（第5号及び第6号）の主な歳入歳出は、別表1のとおりです。補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ100億78万2千円となりました。歳入歳出予算のほか、継続費の設定1件、繰越明許費の設定3件、債務負担行為の追加9件、地方債の変更1件がありました。また、国民健康保険事業特別会計を含む特別会計の補正額については、別表2のとおりです。

別表1

### 一般会計補正予算の主なもの

歳入	補正額
地方交付税	9,134万6千円
国庫支出金	8,268万7千円
県支出金	4,749万7千円
繰入金	780万円
町債	80万円



第4回定例会の様子

歳出	補正額
庁舎第二分室屋上改修工事費	230万8千円
アートを活かしたまちづくり推進事業費	600万円
企業誘致に係る水道施設整備事業補助金	441万8千円
臨時福祉給付金事業費	7,968万7千円
産地改革チャレンジ事業補助金	31万円
和牛子牛増頭対策推進事業費補助金	5,130万円
太子那須楮保存会補助金	10万円
奥久慈しゃも生産組合補助金	10万円
茨城県北「ひよっこ」推進協議会負担金	35万円
(仮称) 芦野倉住宅建設事業費	863万円
(仮称) 袋田第二住宅建設事業費	1,521万7千円
農道災害復旧事業費	785万3千円
職員給与費	193万4千円
太子町国民健康保険事業特別会計繰出金	6万8千円
太子町介護保険特別会計繰出金	2万7千円
太子町介護サービス事業特別会計繰出金	1万9千円
太子町後期高齢者医療特別会計繰出金	5千円
太子町浄化槽整備事業特別会計繰出金	4万1千円

別表2

### 特別会計等の主な補正額

特別会計等	補正額（増額）	補正後の予算額
太子町国民健康保険事業特別会計	1,497万1千円	29億8,292万8千円
太子町後期高齢者医療特別会計	5千円	2億3,634万円
太子町介護保険特別会計	2,421万9千円	24億9,412万9千円
太子町介護サービス事業特別会計	1万9千円	2,974万6千円
太子町浄化槽整備事業特別会計	4万1千円	1億1,858万8千円
太子町水道事業会計（収益的支出）	60万円	4億7,690万5千円
〃（資本的支出）	441万8千円	3億5,813万8千円

## 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第88号	太子町税条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第89号	太子町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第90号	太子町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第91号	太子町営墓地の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第92号	太子町印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第93号	太子町手数料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第94号	太子町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第95号	生瀬コミュニティセンター建設工事請負契約の締結について	原案可決
議案第96号	平成 28 年度太子町一般会計補正予算（第 5 号）	原案可決
議案第97号	平成 28 年度太子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第98号	平成 28 年度太子町介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第99号	平成 28 年度太子町水道事業会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第100号	太子町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第101号	太子町長等の給料の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第102号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任
議案第103号	平成 28 年度太子町一般会計補正予算（第 6 号）	原案可決
議案第104号	平成 28 年度太子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決
議案第105号	平成 28 年度太子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第106号	平成 28 年度太子町介護保険特別会計補正予算（第 4 号）	原案可決
議案第107号	平成 28 年度太子町介護サービス事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第108号	平成 28 年度太子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
議案第109号	平成 28 年度太子町水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
委員会報告 第 2 号	常任委員会審査報告（総務委員会）	原案可決
委員会報告 第 3 号	常任委員会審査報告（産業建設委員会）	原案可決
委員会報告 第 4 号	常任委員会審査報告（文教厚生委員会）	原案可決
議員提出議案 第 6 号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書	原案可決
議員提出議案 第 7 号	森林・林業基本計画の推進に関する意見書	原案可決
議員提出議案 第 8 号	後期高齢者の保険料軽減特例の継続を求める意見書	原案可決
議員提出議案 第 9 号	高額療養費・後期高齢者の窓口負担の見直しにあたり、現行制度の継続を求める意見書	原案可決
議員提出議案 第10号	奨学金制度の改善と教育費負担の軽減に関する意見書	原案可決
議員提出議案 第11号	奥久慈だいがやな漁業組合運営等に関する調査特別委員会の設置について	原案可決

## 人権擁護委員候補者に 根田里美氏を推薦

人権擁護委員の中原恭子氏が平成 29 年 3 月 31 日に任期満了となるため、後任に根田里美氏（池田）を推薦することに同意しました。  
任期は平成 29 年 4 月 1 日から 3 年です。

## 議案の賛否状況

採決にあたり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

**平成28年第4回定例会  
全議案とも全会一致で可決されました。**

# 一般質問

## 県北芸術祭の経済的効果は

### 答 非常に大きな効果があった



野内健一 議員

【野内】 県北6自治体を会場に、9月17日から11月20日までの会期で実施された茨城県北芸術祭は、来場者が77万6千人となり、目標の30万人を大幅に上回ったと、県から発表になった。

大子町としても17万7千人余りの来場者があり、町内でも大いに盛り上がった。目的の一つである地域経済の活性化について、町はどう感じているのか。

【町長】 町内に7カ所の展示箇所があった関係で、町内を回遊する方が多く見ら

れ、特に平日の来客が非常に多かったと思う。町内の飲食店では、10人、20人と並んでいる状況で、りんご農家では、時期が重なったこともあり、平年より大きく売り上げが良かったと聞いた。このような点から、大子町としての地域経済の活性化については、非常に大きな効果があった。数字的な経済波及効果については、来年の2月か3月ごろに県から発表があると思う。

【野内】 今回の成功で、3年あるいは4年ごとに開催するという、トリエンナーレ方式（3年に一度開催）の芸術祭ということが強くなっているが、その場合は事前に担当職員の配置が必要になると思うが。

【町長】 次回は、どのよう

な規模でこういった範囲なのか、今の段階での職員の配置は難しい。県の正式な決定後に準備を進めていく。

【野内】 PTA関係者から次回も開催するのであれば、小・中学校の多くの子どもたちに見せたい、という要望があった。7月から9月の夏休みの期間中の開催を希望ということだが、町の考えはどうか。

【町長】 町として意見を求められた場合には、夏休みから秋でもいいのかなという感じは持っている。

【野内】 芸術祭会期後に町に残された作品の活用は。

【町長】 多方面の関係者との相談になるが、観光資源としての活用を前提として調整をしていく。

【野内】 芸術家の町内移住



県北芸術祭会場の1つである旧上岡小学校

も含め、町内で芸術を生みだしていくという環境の整備についてどう思うか。

【町長】 芸術家の定住も、「芸術のまち大子」をつくっていく上では、非常に重要なことと思う。

健康寿命をできるだけ長く維持するには

【野内】 特別養護老人ホーム待機者については、数年前まで入所待ちが当たり前のことであった。現在は都市部を中心とした施設の増加や人口減少の関係で、施設が空きだしたと聞いているが、大子町の現状は。

【福祉課長】 本町では、マスコミ等で報道されているような急激な減少傾向はない。

【野内】 健康寿命をできるだけ長い期間維持する方法として、トレーニングマシン等の利用があるが。

【健康増進課長】 町民の健康づくりを推進するために、行政と住民組織が協働で町の施設や地域のコミセンで、糖尿病などの各種予防教室や、健康運動教室、食生活改善のための料理講習会、健康講話などを実施している。

また、認知機能を鍛える、スクエアステップ教室の運動の普及に努めている。今後とも、健康寿命の維持、延伸を図っていく。

# 一般質問

## 久慈川をカヌー競技のメッカに

### 答 大会後の施設等整備も進めたい



藤田 稔 議員

は。また、河川等の改修はどのように行うのか。

【教育委員会事務局長】

スラロームとワイルドウォーターという競技が行われる。水量の調節をするために、河川の掘削や寄せ石等をしてコースを作ると思う。

【藤田】施設整備等に係る予算についてはどうか。

【教育委員会事務局長】

仮設のものについては、県から10分の10の補助となっている。基本計画測量業務を777万6千円で実施した。詳細設計は、855万3千円の契約である。カヌー艇庫建設費は、5百万円を予定している。地域の方の協力をいただき、後

に活かされるような施設整備を進めて行きたい。

【藤田】各種公式競技ができるスポーツ施設等の整備を、中長期的な計画で進めて行くべきではないか。

【町長】町単独であらゆる種目を整備するのは不経済



茨城国体を契機としてカヌーのメッカに！

になる。広域的な中で、各施設を活用していきたい。

【藤田】グラウンドゴルフやフットサル等の整備については協議されているのか。

【教育委員会事務局長】

東京理科大では、管理していただけの団体等があれば貸すことは可能である。フットサルは、各体育館を利用してある。その他要望があれば検討したい。

### 保護者の要望に応えて早期の実施を

【藤田】大子幼稚園における一時預かり事業の考えは。

【教育委員会事務局長】

預かり保育実施要綱の整備や職員体制の検討を含め、早急の実施に向けて進めている。

【藤田】各中学校の部活動の現状及び部活動補助金の使途並びに拡充の考えは。

【教育委員会事務局長】

運動部については、大子

中10部、大子西中4部、南中3部、生瀬中4部となっている。補助金の72%が遠征費で、個人の負担金や用品の購入補助にも使用している。拡充は、保護者の意見を考慮し検討する。

【藤田】大子町立小・中学校適正配置等検討委員会、将来を見据えた学校の再編を進めるべきではないか。

【教育長】6月に開催した。年度内に第2回目を予定している。年内に地域協議会を設置する。

### 県北芸術祭の成果を活かした推進事業は

【藤田】「アートを活かしたまちづくり推進事業」の今後の展開は。

【まちはびくり課長】東京芸術大学と連携をして、来年度もアートプロジェクトが展開できるようにしたい。

# 一般質問

## 専門知識を有する人材育成を

### 【答】専門技術をもった職員採用も考える



菊池靖一 議員

【菊池】 土木工事など、設計をするような専門職を育成し今まで外注に出していたものを職員ができれば発

## 旧つくばの森セラピーロードの整備を

【菊池】 大子町は、森林セラピー基地として認定されているが、PR不足が感じられる。セラピーロード整備には好条件の旧つくばの森があるが、今まで活用を考えたことがあるか。

【まちづくり課長】 町内全域が森林セラピー基地とし

注のスピードアップや外注費の削減が図れるのではないか。人材は、町の財産になるので職員採用にも考慮すべきではないか。

【町長】 今年の職員採用では工学部の建築科を出た人の採用を予定している。専門技術を持った職員は、これからも必要なので採用していきたい。

て認定され、今後の本格的な実施に向けて、テストイベントの開催や散策路の整備等を行っている。

旧つくばの森は、地形や植生にすぐれているところなので、旧上岡小学校からつくばの森を経由して旧浅川温泉までの散策路整備を

計画し、地権者との調整を進めている。整備できればセラピーロードとしての活用も検討したい。

【菊池】 資金調達の案として、自治体が行う事業に対して個人が投資する「ガバメントクラウドファンディング制度」がある。この制度はすべての寄附がふるさと納税の対象になるため、投資がしやすいので活用してみてもどうか。

【まちづくり課長】 新しい発想で森林を使う事業なので、外部の方からの支援も受けられる要素が揃っていると思う。提案のあった資金調達も含めて検討した

い。

【菊池】 町民の歩く機会も多くなり、「町の目指す健康寿命を5歳伸ばす」という一助になるのではないかと。

【町長】 憩いの森、広域公園、つくばの森がセラピーロードとして整備されれば、セラピー基地としての魅力が増し、住民だけではなく町外からも誘客が図れる。つくばの森の整備が終われば、森林セラピー大会も検

討していきたい。

## 環境保全協定締結に地元代表も入るべき

【菊池】 木質バイオマス発電業者と町との間で、環境保全協定を締結するとのことだが、企業誘致を円滑に進めるためにも、協定書に地域住民の代表者を加えるべきと考えるがどうか。

【まちづくり課長】 地域住民とかかわりながら協定を締結することは、円滑な事業の実施にあたって望ましいことと考えている。地元区長に立会人という形で協力をいただくことも含め、地域住民とのかかわりが持てるような手法を検討する。

【菊池】 燃料となる木材の発生場所を知るため、間伐材由来証明書の提出も必要ではないか。

【町長】 木材の発生場所の書類まで提出させるのは過剰な要求であると考えている。



造成が始まった2番目のバイオマス発電所入口（創造の森：池田地内）

# 一般質問

## 限りなく8000ベクレルに近づくのでは

### 【答】放射能が積み重なることはない



佐藤正弘 議員

協定の当事者とすべきではないか。

【町長】企業が大字町に立地して雇用を創出し、地域の資源を活用しようというとき、地域住民を当事者として入れる必要性がわからない。

【佐藤】2月から3月に伐採した木材の8検体中6検体で、14・8ベクレルから39・6ベクレルの放射線量が検出されている。燃焼された場合、限りなく8千ベクレルに近づくのではないか。

【町長】すべてが39・6ベクレルあるということではなく、測定値限界以下もあり、最大値の木材がすべて燃されて放射能が積み重なることはない。

【佐藤】企業立地協定書に地域住民を立会人でなく、

【町長】公共施設で測定しているのだから、住んでいるところまで測定する必要はない。

### 大字斎場や公民館の駐車場の設備、充実は

【佐藤】住居の現状や近所との付き合い等から、斎場での通夜の利用が多くなっている。その際、遺体の安置室はあるが付き添う人の仮眠室がなく、遺体を持ち帰るといふことも聞いている。仮眠室の設置が必要ではないのか。また、駐車場の拡充が求められると思うが。

【町民課長】新たな施設の整備、また、職員の配置が必要になる。職員のいない

状態で仮眠することは事業の運営上問題がある。今の施設で仮眠もできるかどうかも含めて検討しなければならぬ事項である。駐車場は近くに宮川コミュニティセンターがあり、そこへ案内する対応をしている。

【佐藤】中央公民館は、多くの人が利用する大字町の顔の一つの施設である。施設の

駐車場は白線が見えない、水たまりができる、入口が狭いなど、早急に駐車場の整備、拡張が必要ではないのか。

【教育委員会事務局長】

中央公民館西側の駐車場は傷みが進行しており、白線が

消えかかった状況にある。利用者の利便性を図るため舗装工事と白線を引き直せるような整備を検討しているところである。

### その他の質問

○甲状態のがん等の検査について

○イノシシによる被害対策について



建設が進む木質バイオマス施設（町民の理解は十分か？）

# 一般質問

## 茨城国体以降も利用できる施設は

### 〔答〕艇庫の建設や進入路整備検討する



金澤眞人 議員

〔金澤〕 国体のカヌー会場の整備はどのように考えているか。

〔教育委員会事務局長〕

今年度詳細設計を行った。次年度から陸地と河川の整備を始める。自然の景観を活かしたコースを考えたい。

〔金澤〕 大会開催はインフラ整備の良い機会と思う。後々まで利用できる施設や設備はあるか。

〔教育委員会事務局長〕

艇庫の建設と進入路を整備する。また、歩道の延長を大子工務所へ申請している。

〔金澤〕 大会開催の意義をどう捉えているか。

〔町長〕 開催要項に地域スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとなっており、町としては多くの来場者に大子町の良さを知ってもらうチャンスであり、カヌーを通しての町づくり、町の活性化につなげ、さらに町の魅力を発信したい。

### 県北芸術祭について

〔金澤〕 県北芸術祭の結果あるいは効果の検証はどのようにしているのか。

〔まちづくり課長〕 県の県北芸術祭実行委員会できざまな分野の調査を行い2月中に実績報告書が示されるので町への効果も検証できる。

現時点での効果としては町へ17万人を超える来場者があり、飲食店や土産物などかなりの経済効果があったと思う。また身近にアートを鑑賞したり、アーティストとの交流など教育的効果もあったと考える。

〔金澤〕 今後も町に残す施設はあるか。

〔まちづくり課長〕 今後の活用については作品所有者と調整を行い、いくつかの作品については展示又は活用を考えたい。

〔金澤〕 イベントを一過性にしないためにどのような努力や工夫を考えるか。

〔町長〕 毎年度アートのイベントを継続する事が大切と考える。町には非常にレベルの高い芸術祭があるが、さらに広く作品と触れる機会を作っていきたい。

### 町の活性化と若者の定着について

〔金澤〕 さまざまな子育て支援策を行って数年経過したがどういった成果が見えてきたか。

〔町長〕 子育て支援住宅に關しては上小川小学校、袋田小学校で児童数が増加し、2カ所の住宅で50名の



竣工間近となった日本初のバイオマスガス発電施設

子ども達がいる。子育て支援の効果が出るには時間がかかるが、長期的にはかなりの効果が出てくると思う。

〔金澤〕 若者が就労するよきな魅力ある農業、林業についてどのように考えるか。

〔町長〕 農業については中山間地ということでは条件的には不利なことが多いが、高品質、ブランド化、直接販売などがキーワードになると思う。林業については

木質バイオマス発電所の誘致により木材の用途の拡大が図られ、森林作業の機械化により若者の就労の場にもなっている。今後、木質バイオマス発電が産業として定着すればさらに雇用の創出につながるかと考える。

### その他の質問

○町の小中学校の将来像は。

# 一般質問

## 宿泊事業の拡大と受け入れ強化を

### 答 利用者数の増加に力を入れていきたい



須藤 明 議員

【須藤】 大子町は県内でも多くの観光資源を有する町であるが、観光の町との意識はまだまだのように思われる。今後の大子町の観光産業振興をどのように進めていくのか。

【町長】 基本的には、大子町の観光資源、自然資源を活かしたお土産の開発などに対応していけば、永続した観光地として生き残ることができると思っている。

【須藤】 町は観光推進宿泊事業の中で、宿泊助成券を観光協会とともに発行して

いる。宿泊客を増やすために、宿泊助成券の思い切った増額や飲食店、土産物販売店、観光果樹園等への利用可能な新たな助成券の発行を図り、消費意欲を意図的に刺激し観光産業の振興を図ってはどうか。

【町長】 宿泊助成券の発行枚数の増についても検討するが、利用者数の増加というものに力をいれていきたい。

### 中長期的観点から観光資源の発掘を

【須藤】 去る10月に議員研修が行われ、福島市の花見山公園を視察した。地域市民と行政が一緒に観光客の受け入れや環境整備に取り

組んでいる。同行した町長は率直にどう感じたか。

【町長】 観光事業は、中長期的な視点が必要である。大子町においても参考にして、花による観光客の誘致も大切な要因の一つであるため、ハナモモの桃源郷づくりといったことに取り組んでいきたい。

【須藤】 どれくらいの絵を描いているのか、描こうとしているのか。

【町長】 町有地が山田に14町歩あり、この辺を中心にハナモモを植えてはどうかといった、漠然とした話ではあるが、そういうことも含めて検討したい。

### プラスチック類回収の新たな取り組みを

【須藤】 容器包装プラスチック類を各地区のコミセンまで運ぶことが、非常に大変との話を聞く。集積所に瓶や缶と同じように持ち込む方法がとれないのか。

【環境課長】 現状の人数、車両で集積所での収集に対応することは困難な状況である。容器包装の回収・分別は、事細かく小さな文字で表示されており、高齢者の方がそれを分別して出すということは、大変な作業になる。いろいろな要因を検討しながらごみゼロに向け対応したい。

【須藤】 現在のごみの分別回収方法は、一朝一夕で



プラスチックごみの回収には課題も多い

きたものではない。改善に改善を重ねて現在に至っている。町民の多くの悲痛な訴えを聞いてほしい。テールブルのせ、人の数、車両の数、伴う予算は行動に移して遅くないと思うが。

【町長】 プラスチックごみの回収は、基本的には無理のない形での回収を目指している。ご指摘の件は十分認識しており、それはそれとしてまた別な対応をとっていききたい。

# 一般質問

## 楮産地を守る収益向上の対策を

### 【答】自由経済に行政は介入できない



大森勝夫 議員

今後はパンフレットの原料表記に「大子那須楮」の名称を使用することを約束している。大子町から出荷する楮にも、大子那須楮と表記した出荷札を産地証明書として添付することを考えている。

【大森】新たに設立された大子那須楮保存会による生産者保護活動の方針は。

【農林課長】楮（コウゾ）生産農家の後継者育成、計画的な植栽や管理、加工技術の伝承などによる安定供給に取り組みブランド化を図りたい。

【大森】大子で採れた楮が、和紙産地では那須楮という名称で扱われ、原料産地としてのブランド化が進展しなかった。その対策は。

【農林課長】美濃和紙、越前和紙の両産地において、

の産地が消滅の危機に瀕している。収益性の低さが原因だと感じる。大子町内で採れた楮は産地統制して出荷調整をするなど、収益性

### 茨城国体で経済効果の向上対策は

【大森】茨城国体でカヌー競技が大子町で開催される。民間への経済波及効果も期待したいところだ。現段階での構想は。

【教育委員会事務局長】選手、役員の宿泊所が合同配宿システムで割り振られる。さらに、近隣市町村を訪れる競技関係者や観戦者の宿泊も見込むことができ。また、競技期間中に茨城県へ来た方が、大子町へ足を運んでく

の向上が図れる生産者保護の環境整備や指導が急務なのではないか。

【町長】出荷規制などに行政が関与すれば共産主義になってしまう。生産や販売は自由の中で行うものなので、町の課題だとは認識していない。生産者のバックアップが行政の役割である。

れる工夫が必要と感じており、関係者と協力していきたい。



国体開催による経済効果も期待したい

たい。

【大森】カヌー競技は事前の現地視察が想定され、民間経済にプラス効果が期待できる。本番前に会場を使用した競技会の計画は。

【教育委員会事務局長】国体開催の1年前の5月から6月ごろに、関東ブロック予選兼関東選手権大会が予定されている。

【大森】国体終了後も、町をカヌーのメッカとしていきたいとの抱負を聞いた。久慈川は鮎釣りも盛んである。実施エリアの配分など関係調整が必要と感じるが、取り組みの考えは。

【教育委員会事務局長】久慈川は川幅が狭く共存が難しい。それぞれの関係団体と協議し連携を図ることで、国体終了後のカヌー競技場跡地の活用につなげ、交流人口の増加を見込みたい。

### その他の質問

○アートを活かしたまちづくり推進について

# 一般質問

## 防災訓練のあり方は

### 【答】要支援者に対する支援体制を充実させる



吉成好信 議員

【吉成】平成28年9月1日

防災の日に訓練が実施された。多くの参加機関の協力を得て、訓練ができたというところであるが、訓練の中で土砂災害の警戒区域のパトロールを行って、点検、報告を実施することになっており、更に、防災組織で土砂災害、あるいはハザードマップを用いて危険箇所

の点検をどのようにできたのか。また、要支援者に対する支援体制の整備を実施することであるが、実施訓練はされたのか。車椅子の

方や付添者の訓練、地域の対象者の名簿はできているのか。要援護者、障がい者、老人の方々の名簿が作成されている全国の自治体は、1640（全国の自治体数1719）あり、その中に大子町も入っているのか。

【福祉課長】名簿作成団体

には、本町は入っていない状況である。理由は、町の防災計画そのものに、この要支援者に係るリスト作成の定義がされていないということになる。しかし、要支援者のリスト自体はできあがっている。

### 大子町の橋梁の

### 点検は

【吉成】県内の市町村道の

橋は1万2千カ所あり、大子町でも458カ所ある。15メートル未満が359カ所、15メートル以上が99カ所であるが、点検はどのように実施しているのか。通常、5年サイクルで安全対策（トンネル含めて）を実施するが、どのようにしているのか。

【建設課長】平成24年12月

2日、4年前に中央自動車道の笹子トンネルで天井板の落下事故があり、翌年6月に道路法が改正され、それに伴い道路施設の老朽化対策が義務化された。大子町が管理している全ての橋梁数は458であるが、大子町独自の基準を設け、道路法の施行規則に基づき、まず近接目視により5年に1回の点検を、平成26年度から実施している。平成27年度からは、茨城県建設技術公社へ橋梁点検業務を委託している。

### 放射性物質汚染における出荷制限は

【吉成】木質バイオマス

ガス発電とバイオマス発電の2基が発電に入るが、大子町のシイタケ栽培者は検査をして出荷しようとしても通過しない。



町内の橋梁は大丈夫か？（委託による橋梁点検業務）

大子町の原木でなく栃木の汚染されていない原木でも基準値を超えてしまう。土壌が悪いのか、立木が悪いのか。

【農林課長】シイタケは当初から出荷制限はかかっていないが、生産にあたり、ほだ木の検査を行わなくてはならないことや、ほだ木の原材料の入手が困難になり、シイタケ生産をやめた農家の方があることは伺っている。

—大子っ子の夢、応援しています—

# わくわく わたしの夢



私の夢は、看護師になることです。

二年生の時の職場体験学習で病院に行き、患者さんを不安にさせない看護師さんの笑顔と明るさに接して、看護師の道に進みたいと強く思うようになりました。

私は、いつも周りの皆に助けられてきたので、今度は私が看護師になり、周りの人の手助けをし、一人でも多くの人を笑顔にしたいです。そして、心身の健康にも気をつけて生活していきたいです。



大子西中3年  
塚田 妃南さん  
(大字上金沢)

にしたいと思っています。

心と体の健康を支える看護師の道は、決して容易ではありません。そのため私が今、頑張らなくてはならないことは、高校受験です。

この高校受験は夢のための第一歩になるので「合格」を目指し頑張りたいです。そして、心身の健康にも気をつけて生活していきたいです。

## 町村議会

### 広報研修会

昨年10月25日に全国の町村議会広報担当の議員が集まり、議会広報紙についての研修会が開催され、当議会からも4名の議員が参加しました。講師には、各界で活躍されている編集長や編集会社の代表を迎え、「分かりやすく、伝わる広報紙の表記」等、広報紙作成においての重要なポイント等を学びました。

議会が改選され、広報紙



シェーン・バッハ・サボーにて(東京)

も新たな取り組みや企画を取り入れていますが、今回の研修の成果が活かせるよう今後とも努力していきたいと思えます。

## 3月定例会 開催予定

- ▽1日(水) 開 会
- ▽2日(木) ～5日(日) 自宅審議
- ▽6日(月) 一般質問
- ▽7日(火) 一般質問
- ▽8日(水) 一般質問
- ▽9日(木) 逐条審議
- ▽10日(金) 逐条審議

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

## 大子町議会 広報委員会

- 委員長 大森 勝夫
- 副委員長 菊池 靖一
- 委員 中郡 一彦
- 委員 佐藤 正弘
- 委員 鈴木 陸郎
- 委員 齋藤 忠一

## あしがき

新年を迎え皆さまいかがお過ごしでしょうか。

大子町議会では、町民の皆さまに開かれた分かりやすい議会を目指し、更に努力を重ね、広報活動の充実を図っています。

議会の一般質問については、毎回10名前後の議員が質問に立ち、活発な質疑が展開されています。近隣の市町村議会での一般質問者は数名程度で、大子町議会は際立って質問者の多い議会であります。

今後は、多くの質問が町政に反映されているかなどを検証し、掲載できればと考えております。「議会だより」が町民との架け橋となるよう努力してまいります。  
(中郡一彦)